

保護者のみなさまへ

このたび、港区教育委員会では、児童・生徒が安全に生成AIを活用できるよう、生成AIの利用に関するルールをまとめたリーフレットを作成しました。

本リーフレットは、令和8年2月に開催したワーキンググループにおいて、児童・生徒の安全確保、適切な活用場面、家庭と学校が連携して見守ることの重要性などについて協議した内容を踏まえて作成しています。

生成AIの中でも、「ブラウザAI要約」は、実装している検索エンジンで、インターネット検索を行う際、生成AIが働くシステムが実装されており、制限をかけることができません。

ご家庭でもお子さんと一緒に読んでいただき、AIとの上手な付き合い方について話し合うきっかけにしてください。

東京都の「家庭における青少年のスマートフォン等の利用等に関する調査報告書」(令和8年2月)によると小学校低学年の生成AIの利用率は55.8%に及びます。

AIは便利な一方で、使い方によってはトラブルや法令違反につながることもあります。普段の生活の中で、保護者のみなさまが「どんなときにAIを使うと便利かな?」「AIが答えたことは正しいかな?」などと、一声かけていただければと思います。

参 考

文部科学省HP
生成AIの利用について



とうきょうの情報教育
～都内学校生成AI～



家庭における青少年の
スマートフォンの利用等
における調査



港区立小中学校児童生徒向け 生成AIの利用について

「決める」のは君。AIは「サポーター」

はじめに

AIは、正しい使い方を学び、利用することができればみなさんの学びを手伝ったり、深めたりしてくれる便利な道具です。使うときは、おうちの人や先生の許可をもらい、このルールをしっかりと守って正しく使いましょう。

まずは「AIの力に頼らずに自分で考えてみること」、「AIが出した答えが必ずしも正しいとは限らない」ことを覚えておきましょう。



生成AIは、使い方を間違えると困ったことやトラブルにつながることもあるため、利用する際は注意が必要です。

例えば、生成AIが作った文章や絵には他の人が考えたり作ったりしたものにとってもよく似た内容があり、自分の作品として使うと著作権(ちよさくけん)に反することもあります。

リーフレットをよく読んで、
ルールをしっかりと覚えよう!



MINATO AIルール



① AIを使うときのルール

次のことを守り、適切に活用しましょう。

- ✓ **個人情報**は入れません。
 - **あなたの名前、住所、電話番号、生年月日、学校の名前、クラス名、おうちの人の名前**など、自分や友達の個人情報は、ぜったいにAIに入力しません。
 - 成績など、学校で大切な情報も入れません。
 - 自分や友達の写真・動画は、AIに入力しません。
- ✓ AIを使って、**友達を傷つけることや嫌な気持ちになる文章を作らない**。
- ✓ **他の人が作った絵や文章**を、まるで自分が作ったかのようにAIに入力したり、AIの出力として発表したりしません。
- ✓ AIを使った場合は、何を質問し、どの回答を参考にしたかが分かるようにします。

② 宿題や課題でのAIの使い方

- ✓ 先生から「AIを使ってよいです」という指示があった場合のみ使いましょう。
- ✓ AIを使って文章を作るときは、**どこまでAIを使ったか**を先生にしっかり伝えましょう。
- ✓ 宿題やレポートを、AIにすべて作らせて提出はしません。

宿題や課題でAIを使ったときは先生の指示に従って使った内容が分かるメモやスクリーンショットを提出します。



困ったことがあったら、間違えてしまったらすぐに先生に相談しましょう！

③ AIの活用例

～タブレット端末で出てくるブラウザAI要約
自宅で生成AIサービス(例:チャット型AI)を使う場合～



悪い例

活用例

学習で...

✕ 分からないことを、すぐにAIに聞いてしまう。

まずは自分で考えたり、教科書を讀んだりしてから、AIを活用する。

調べ学習で...

✕ AIがまとめた内容を、そのままノートに書く。

まず教科書や資料で調べて考え、AIに助けてもらいながら自分の考えをよりよいものにしていく。

作文で...

✕ AIが作った作文を、そのまま提出する。

自分で書いた作文について、表現のアドバイスをもらう。

作品制作で...

✕ AIだけで作った作品を、自分の作品として提出する。

自分のアイデアを考えた上で、AIを参考にしながら工夫する。

AIを使って考えたあとは、**必ず教科書に戻って確かめよう！**

AIと学ぶための 3つの基本ルール

1



先生の指示を守る

AIを使うときは、**必ず先生の指示やルールに従いましょう。**
使ってよい時間や場所を守りましょう。

2



自分で考えることを大切にする

AIが作った文章やアイデアをそのまま写すだけでは、あなたの力になりません。
AIを参考にして、自分で考えて直したり、付け足したりしましょう。

3



最後は自分で考える

AIが出した答えやアイデアは「参考」です。
それで正しいか、本当によい考えかを自分で確かめて、**最終的な答えは自分で考えましょう。**

3種類の生成AI

対話型生成AI



(例)「Copilot」「Gemini」など

➡人間と自然な会話をしながら質問に答え、文章やイラスト、アイデアなどを生成します。

学校向け生成AI



(例)「都立学校向け生成AIサービス」など

➡教科書などをもとに回答を作成して一人ひとりに合わせた学習支援をすることができます。
※ 港区では、現在導入していません。

ブラウザAI要約



(例)「Google検索AIモード」など

➡Webブラウザに組み込まれ、検索結果やWebページの内容を自動で要約します。